
平成31年4月1日から令和2年3月31日までの 事業報告

はじめに

当センターは、昭和54年に国分寺市高齢者事業団として設立され、昭和55年には社団法人シルバー人材センター国分寺市高齢者事業団、平成2年には社団法人国分寺市シルバー人材センターと名称を変え、平成23年4月1日には公益社団法人としての認定を受け、本年設立40周年を迎え、定時社員総会後に、公益社団法人国分寺市シルバー人材センター設立40周年記念式典を開催しました。

また、令和元年度は、「第2次中長期計画・後期計画」が終了し、新たに令和元年度から令和5年度までの「第3次中期計画」を策定し、高齢者の能力と希望に応じて、臨時的・短期的な就業を組織的に提供し、生きがいの充実、健康維持、社会参加の場として、当センターの事業運営に努めてまいりました。

さらに、国が高齢者の雇用・就業機会の確保など高齢者の働きやすい環境整備を進める中、当センターは、請負・受託事業とともにシルバー派遣事業の一層の拡充と会員増強・就業機会の拡大に向けて積極的な事業展開を図りました。

今年度は、「会員数の増強」「就業機会の拡大」「安全就業の徹底」の3施策を事業計画の重点として取り組んできました。

センター事業の契約金額につきましては、令和2年2月は新型コロナウイルス発生による公共の施設管理等の就業中止などがあり、前年度同期の契約金額実績を大きく下回りましたが、令和元年10月からの配分金及び消費税率の引上げなどの要因が大きく影響し、前年度実績を上回りました。

また、会員数につきましては、新型コロナウイルス感染予防のため令和2年2月及び3月の入会説明会が中止になるなどの影響で微減しました。

このことから今後も、センターの魅力を高め、多様なニーズに対応する事業展開が急務となっています。

以下、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの具体的な事業・活動につきまして報告いたします。

令和元年度の具体的な事業運営・活動の取り組み

当センターは、シルバー人材センターの「自主・自立」「共働・共助」の理念に基づき、60歳以上の高齢者に対し、臨時的かつ短期的または簡易な業務に係る就業の機会を提供し、働くことによる生きがいや活力ある地域社会づくりに貢献します。

1. 「第3次中期計画」を策定し、計画を推進しました。

- ① 令和元年度の数値目標の達成に向けて、適正なセンター事業・運営を積極的に取り組みました。

令和元年度数値目標			
	数値目標	事業実績	達成率
会 員 数	700 人	663 人	94.7%
(女性比率)	(29.0%)	(28.0%)	96.6%
契 約 金 額	27,000 万円	28,442 万円	105.3%
年間就業率	87.0%	85.7%	98.5%

- ② 会員数は、令和元年 6 月末の 654 人を底に緩やかな増加傾向に転じ、令和 2 年 3 月 31 日現在では 663 人となり、昨年度末の会員数 669 人を若干下回り、会員数数値目標の達成率は、94.7%となっています。
- ③ 契約金額は、公共事業では昨年度に引き続き委託契約終了などの影響もありましたが、民間事業を含めて契約金額総額は 28,442 万円、目標達成率 105.3% の実績となりました。一方、年間就業率は 85.7%となっています。
- ④ また、受託件数 5,636 件(月平均 469 件)、延日人員 62,327 人員(月平均 5,194 人)、実人員 568 人の実績となっています。
- ⑤ 公共事業の委託業務単価については、国分寺市の担当課と協議いたしました。市の財政事情等により昨年度東京都最低賃金額の 958 円に据え置かれていましたが、10 月の消費税改定に伴い全体の委託契約単価を引き上げ、10 月以降の配分金の最低単価を 976 円としました。
- ⑥ 民間事業の配分金については、発注者等の理解を得ながら、平成 31 年 4 月から 9 月までは、東京都最低賃金額の 985 円を基本に引上げ、さらに、令和元年 10 月からは、消費税改定分及び令和元年度東京都最低賃金を基本に 1,013 円に引上げました。
- ⑦ 安全就業の推進と就業中・就業途上の事故防止に努めましたが、傷害事故 6 件、賠償事故 4 件となっています。

2. 会員の拡大と就業機会の確保、契約金額及び就業率の向上に努めました。

- ① ホームページを令和 2 年 1 月 15 日から全面的に魅力ある内容にリニューアルし、センターの最新情報を提供・開示し、会員拡大及び就業開拓に取り組みました。
- ② 会員の入会説明会は事業委員会の理事が担当し、2 月 27 日及び 3 月の入会説明会は新型コロナウイルス感染症対策のために 3 回中止したため、福祉センターでは年 13 回、市内の施設では 4 回の合計 17 回を開催し、新たに年間で 84 人が入会しました。(年間退会会員数：90 人)

- ③ 会員一人ひとりが新規会員を紹介する「会員増強運動」を、地域親睦会議等で周知し、令和元年 10 月から 12 月までセンター全体で取り組み、3 名の入会がありました。
- ④ 事業委員会及び事務局職員を中心に商工会を含め市内の事業所訪問を実施し、幅広く請負事業及び派遣事業の就業開拓に取り組みました。
- ⑤ 公共の施設管理では、全会員を対象に令和元年 10 月 1 日からの就業希望会員を募り、就業基準の適正な運用と公平な就業機会の提供に努めましたが、今年度も就業会員の確保が困難な状況が継続しています。こうした状況を改善するため、令和 2 年 10 月から小・中学校管理業務に限り、就業制限年齢を 78 歳まで引き上げます。
- ⑥ また、長期就業している就業場所では、就業会員の理解を得ながら、ローテーション就業を推進し、より多くの会員に就業機会を拡大しました。
- ⑦ 未就業会員を対象に、第 2 金曜日に就業相談会の実施及び就業情報を提供することにより、就業機会の提供・拡大に努めました。
- ⑧ 会員相互の交流を図るため、令和元年 11 月 8 日に第 5 回「シルバーあおぞら教室『歩いてゼミナール』」（国史跡・武蔵国府跡とサントリービール工場見学）を実施しました。

3. シルバー事業に関する普及、宣伝活動を推進しました。

- ① 会報「いきがい」第 140 号を 8 月、第 141 号（設立 40 周年記念特別号）を 1 月と、計 2 回発行し、会員相互の連帯意識を高め合い、さらに、センター事業の内容紹介など情報提供・周知に努めました。
- ② さらに、会員へ情報発信する「センター便り」も、第 16 号を 4 月、第 17 号を 10 月と、計 2 回発行しました。
- ③ 一般家庭、事業所、官公庁等に、センター事業のチラシ・ポスター及び会員募集チラシを配布し、受注拡大と会員の加入促進に取り組みました。
- ④ 市報等を活用して入会説明会の案内や、広報強調月間では、10 月 1 日号市報にセンター事業の情報提供など、市民への広報・宣伝活動に取り組みました。
- ⑤ 役職員を中心に、令和元年 11 月 4 日の国分寺まつり会場と、国分寺駅南北通路で令和元年 10 月 18 日に駅頭宣伝を実施しました。なお、令和 2 年 3 月 19 日実施予定の 2 回目の駅頭宣伝活動は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。
- ⑥ 令和 2 年 1 月 29 日から 31 日までリオンホールで第 9 回のシルバーフェスティバルを開催し、センター事業の PR 活動及び就業相談などを開催し、参加者数

は474名でした。(第8回370名)

4. 会員の就業意識の向上に努め、待遇などの研修を実施しました。

- ① 就業に関する知識及び技能を向上させるため、財団(連合)が開催する役職員及び会員を対象とする研修会・講習会に積極的に参加しました。
- ② 財団が主催する就業支援講習を積極的に活用して、植木班の後継者と家事援助サービス就業会員を育成しました。
- ③ 施設管理業務では、就業会員の待遇など質の高いサービスが求められるため、当センター独自の待遇研修を令和2年2月6日と7日に実施するとともに、家事援助及び小中学校のトイレ清掃業務に就業する会員を中心に、令和2年2月19日に「わくわく清掃講座」を開催しました。
- ④ また、AED(自動体外式除細動器)講習は、施設管理の就業会員を対象に令和元年11月26日に開催しました。
- ⑤ 地域班会議は、今年度から地域班親睦会議と名称を変更し、11地区で令和元年10月3日から11月7日まで開催され、参加会員数は158人、出席率23.8%で、会員同士の交流とシルバー事業についての理解を深めました。
- ⑥ 地域班長会議では、センター事業の進捗状況等の周知を図り、令和元年7月26日の第1回地域班長会議では「健康管理と熱中症」の学習会、12月20日の第2回会議では「国分寺市防災計画を知ろう!!」の講座を開催しました。
- ⑦ 職域班会議は、植木班・除草班・施設管理などの仕事別グループを含め、延べ35回開催しました。なお、3月に予定していた除草・学校管理・市報配布の就業する会員を対象とする職域の会議は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりました。
- ⑧ 会員及び役職員には、再度「シルバー人材センター安全就業ガイドライン」を周知し、センター事業を適正・適法に運営していくためのコンプライアンス(法令遵守)を意識していただき、資質の向上に努めました。

5. 事故「ゼロ」を目標に、安全就業対策と健康管理に努めました。

- ① 毎月第3水曜日を「安全の日」と定め、安全巡回指導を合計11回実施し(3月は新型コロナウイルス感染症対策のために中止)、就業会員に「安全点検チェックリスト」による聞き取り調査を実施し、安全就業及び事故「ゼロ」の取り組みを推進しました。また、就業中の傷害事故に関する「傷害事故情報」を「安全だより」「安全推進だより」で周知し、就業中の全会員に事故「ゼロ」の啓発を行いました。
- ② 安全管理委員会では、平成31年度安全管理活動計画に基づき安全就業及び事故防止に向けた取り組みを推進しました。さらに、「安全だより」を令和元年7

月 15 日に、「安全推進だより」を 12 月 15 日に発行し、安全就業及び事故防止の徹底に努めました。

- ③ 「安全はすべてに優先する」を基本に、入会説明会や新しく就業する会員に対して「安全就業基準」及び「安全心得 10 ヶ条」の周知及び徹底を図りました。また、就業会員対象に「安全心得 10 ヶ条」を掲載したクリアファイルを配布しました。
- ④ 令和 2 年度の「安全標語」について、財団は「就業中および経路途上の交通事故防止について」、センターは「転倒事故防止について」を標語テーマと設定して 12 月に募集を行いました。財団の標語には 34 点、センターの標語には 33 点の応募があり、標語ごとに 3 点の優秀作品を選定しました。
- ⑤ 7 月の「安全就業強調月間」では、令和元年 7 月 10 日と 24 日に理事による特別安全巡回を実施し、全会員に安全就業について啓発活動を実施しました。
- ⑥ 土日・祝日などのセンター事務所閉鎖時の緊急・事故対応として、緊急時連絡網（コールセンター：04-2929-8282）の周知を図りました。
- ⑦ 令和 2 年 2 月 28 日に予定した市高齢福祉課と地域包括センターなどの協力による「体力測定・介護予防教室」は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりました。

6. 福祉・家事援助サービス・子育て支援サービスを推進しました。

- ① 財団等が主催する福祉・家事援助サービス及び子育て支援サービスについての講習会及び普及啓発活動を実施しました。この講習会及び普及啓発活動を実施することで、女性会員の加入促進を図りました。
- ② 国分寺市から受託している「介護予防・日常生活支援総合事業 B 型事業」は、受託開始から 3 年目を迎えました。就業会員を対象に、令和 2 年 2 月 19 日に「わくわく掃除講座」の研修を実施しました。

7. 保育補助分野などのシルバー派遣事業に取り組みました。

- ① 従来の請負・委託事業になじまない高齢者の多様な就業機会の確保及び拡大に向けて、公益財団法人東京しごと財団国分寺派遣事業所としてシルバー派遣事業を実施しました。
- ② 今回新たにスーパーマーケットから、惣菜等の加工業務に関して依頼があり、就業を開始しました。
- ③ 今年度も、セミナーの受付業務や展示会の搬入作業、開店準備・店番などの単発の業務開拓を図り、就業場所の拡大に努めました。
- ④ また、第 6 ブロック職員連絡会等で、先進センター等の状況や労働関係法令等の情報収集に努めました。

- ⑤ ホームページに、新たに派遣事業のバナーを作成及びページのリニューアルを行い、派遣事業の PR に努めました。

8. 会員及びお客様を対象とした実態調査アンケートを実施しました。

- ① 6月に、公平な就業機会の提供を行うため「会員状況調査」を実施しました。対象会員は666人で、回答数581人、回答率は87.2%、センターで就業中の会員は64.3%、センターで働きたい会員は9.2%という結果でした。また、未就業会員に就業情報を電話等で提供しました。
- ② 当センターを利用していただいているお客様を対象に、令和元年10月に会員が行った仕事の完成度や満足度についてのアンケートを実施し、仕事の出来栄え・満足度は「普通から満足までが98.4%」、料金に関しては「妥当と安いが96.8%」という結果でした。このアンケート結果については、ホームページに掲載しました。

9. ボランティア活動を実施しました。

- ① 市報配布会員による「空き家情報」をボランティアで実施し、今年度は106件の空き家情報を市に提供しました。
- ② 地域での高齢者の見守りや高齢者福祉施設等の慰問・児童下校時安全パトロールなど福祉活動を支援しました。

10. センター事業の適正な事業運営・経営に努めました。

- ① 理事及び職員は、センター事業の適正な運営・経営に努め、会員の生きがいの充実を図りました。さらに、センター事業の重要な案件を審議・決定する理事会を活性化させ、総務・事業・安全管理の各委員会活動の強化を図りました。
 - ㊦ 令和元年(第9回)定時総会は6月21日に開催し、平成30年度監査報告、平成30年度事業報告及び決算、理事の選任の提出議案すべてが、可決承認されました。
 - ㊧ 総務委員会は8回開催し、会報の発行・講演会等の企画などを協議し、センターから会員への情報提供を行いました。
 - ㊨ 事業委員会は9回開催し、入会説明会を担当し、さらに、ホームページをリニューアルし、会員増強運動やシルバーフェスティバルの開催及び事業PR活動に取り組みました。
 - ㊩ 安全管理委員会は、安全管理委員と安全支援員が順番で「安全の日」巡回指導を計11回実施し、安全就業・適正就業を推進しました。
- ② 定款第24条(理事の職務及び権限)に規定されている会長、副会長及び常務理事の自己の職務の執行の状況を、令和元年度第7回理事会(開催日:令和元年10月25日)と第12回理事会(開催日:令和2年3月27日)で報告しました。

監査報告書

令和2年4月23日

公益社団法人国分寺市シルバー人材センター
会長 金 木 昇 殿

公益社団法人国分寺市シルバー人材センター
監事 永 山 百合子 印
監事 川 野 智 子 印

私達は、公益社団法人国分寺市シルバー人材センターの令和元年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査報告

- 一 公益社団法人国分寺市シルバー人材センターの令和元年度の事業報告は、法令もしくは定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及び附属明細書並びに財産目録の監査結果

公益社団法人国分寺市シルバー人材センターの令和元年度の計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上